

Informatica Cloud APIマネージャー

主なメリット

- コーディング不要の環境、自動API探索、データAPI、自動生成のインターフェイス定義により、開発効率を改善
- API開発の民主化により、ビジネスの俊敏性を向上
- 詳細なデバッグで堅牢なAPIを開発
- 完全なライフサイクル管理でAPIを制御
- インフォマティカのAPIゲートウェイで機密データを保護
- APIマネージャーでAPIの使用状況を視覚化

データ、API、アプリケーションの統合を最新化

データ主導のデジタルトランスフォーメーションによって、さまざまな統合パターンが求められる新たな使用事例が出現している中、アプリケーションを準リアルタイムに統合するパターンの1つとして急速に台頭しているのが、API統合です。このような状況を背景に、インフォマティカはAPIを開発、公開、管理、監視、廃止、利用して、ファイアウォール内外の複数のクラウド/オンプレミスシステムを網羅するビジネスプロセスの協調を実現するサービスを構築しました。このサービス、Informatica Intelligent Cloud Services™ (IICS) のAPIマネージャーは、APIの開発と利用だけではなく、APIのライフサイクル全体を管理するための数々のユニークな機能を提供します。

インテリジェントなAPIをシンプルに作成

APIの民主化

APIマネージャーにより、Javaクラスのプロフェッショナルな開発者だけでなく、データ/アプリケーションチームの一般的なメンバーでも統合APIを開発できます。作成したデータやアプリケーション、オーケストレーションAPIは、ポイントアンドクリックで簡単に実行できます。これは、コンサルタントや仕事で手一杯のIT部門に頼ることができない企業にとって、従来の状況を根本から変革する環境です。これを可能にするのが、インフォマティカが実現したシンプル性、アクセス性、生産性です。

あらゆるデータ、パターン、レイテンシに対応する高度なデータアクセス

インフォマティカは、APIを通じた最も幅広いデータアクセスとデータ操作を実現します。ユーザーは、APIを呼び出すだけで、あらゆる場所（クラウド、オンプレミス、ファイアウォール内外など）に格納されているあらゆるデータの調整、取り込み、同期化、複製、変換、リフト&シフトを、あらゆるスピードとレイテンシでリアルタイムに実行すると共に、APIへのアクセスを管理、調整、監視できます。つまり、セキュアかつ適切な管理環境下で、APIを作成できるのです。

AI（人工知能）対応のメタデータ探索

データに詳しい説明が付けられていることは、ほとんどありません。APIマネージャーが実装しているAI/機械学習ベースのCLAIRE™エンジンを活用することで、データの探索と説明を自動化して、さまざまな統合シナリオで使用できます。大規模データセットの処理やAPIの公開/呼び出し、またデータの大量取り込みなどを実行する場合、データの説明がなければツールを効果的に使用できません。CLAIREベースのメタデータ探索により、データの価値を把握するために必要な情報を獲得できます。

主な機能

APIの開発と設計

APIを開発するには、APIのタイプの選択、API機能の計画、メソッドの設計、また標準応答形式（XMLやJSONなど）の実装が必要です。ユーザーは、複合APIとして公開したさまざまなアプリケーションサービスとデータサービスを利用したり調整したりできます。また、REST、SOAP、Java、SQLに加え、ストアドプロシージャやメッセージキューイング、パブリッシュ/サブスクライブシステム、その他のオンプレミスおよびクラウドのアプリケーションやサービスを組み込むことができます。

APIイントロスペクション

定義したAPIは、REST Swagger（OpenAPI）やSOAP/WSDLなどの業界標準を使用した、自己記述性を備えています。インターフェイスドキュメントを作成する必要はありません。これらのドキュメントは、開発者のために自動生成されます。

APIレジストリ

公開したAPIは自動的にAPIレジストリに登録されるので、管理が容易で、他のユーザーも簡単に探索してアクセスできます。APIの公開はワンクリックだけで実行でき、後はアプリケーションやパートナーによる利用状況を監視できます。

APIゲートウェイ

APIゲートウェイにより、社内およびパートナーに対して、APIを実装、有効化、保護できます。また、レート制限やIPフィルタリングなどのポリシーを適用して、APIへのアクセスを保護および制御することも可能です。このゲートウェイは、REST（XMLとJSON）およびSOAP APIをサポートしています。

API監視

API監視により、包括的にセキュリティを確保して、例外状況を記録できます。API管理者は、APIへの不正アクセスやポリシーの例外状況を迅速に特定して分析できます。

アナリティクス

統合APIの利用状況レポート、アナリティクス、傾向レポートなど、カスタマイズ可能なグラフベースの自動分析を使用できます。

主なメリット

コーディングは一切不要でRESTやSOAP APIを迅速に実装

開発者は、インフォマティカの統合設計環境でアプリケーションAPI、データサービスAPI、データセットAPIを作成できます。あらかじめ組み込まれたウィザードを使用すればコーディングは一切不要なので、生産性が飛躍的に向上します。またインフォマティカの高度なアプリケーション統合サービスにより、APIベースのシステムを調整して、アプリケーション、チーム、パートナーにAPIを公開できます。さらに、データの同期化、複製、変換、大量取り込みなどの機能によって、データ統合を強化できます。アプリケーションAPIやデータサービスAPIを公開する準備が整ったら、あらかじめ組み込まれたAPIゲートウェイを使用して、REST/SOAPのアプリケーションおよびデータAPIのセキュリティを確保し、監視します。

拡張性とセキュリティに優れた堅牢なAPIを作成

開発者は、多数のアプリケーションとインターフェイスで利用可能な、拡張性とセキュリティに優れたAPIを作成したいと考えています。API/統合の実装とデバッグにより、複数のクライアントでテストできるだけでなく、ユーザー、トランザクション、アプリケーションの急増に対応できる拡張性を備えているかどうかを確認できます。また、あらかじめ組み込まれたモニターを使用して、実行環境とデータ操作のすべてのステップを評価できます。

完全な可視性でAPIのライフサイクル全体を管理

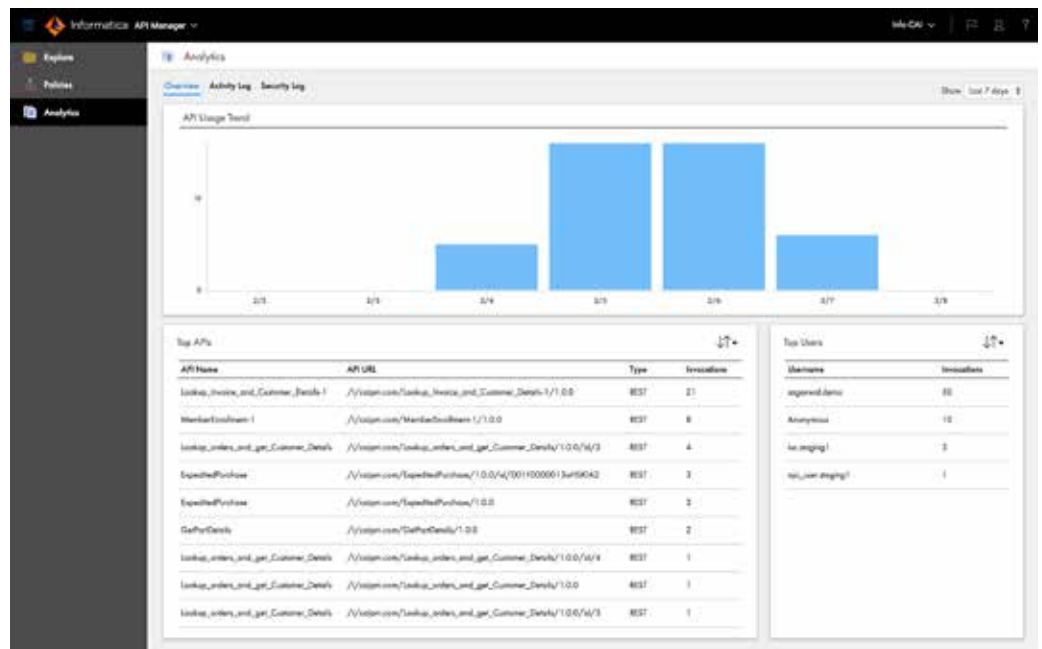
APIマネージャーにより、APIの管理者と開発者は、APIの制御と監視、サービスAPIの公開、APIライフサイクル（有効化、無効化、廃止など）の管理を簡単に実行できます。

アプリケーションAPIやデータAPIへの不正アクセスを防止

許可やレート制限のポリシーを通じて（エンドポイントごとのレート制限、IPフィルタリングポリシー、IPホワイトリスト/ブラックリストなど）、APIへのアクセスを管理および保護できます。包括的なセキュリティ例外ログにより、API管理者は不正なAPIアクセスの試行やポリシーの例外状況をすばやく特定して分析できます。

リアルタイムアナリティクスの活用

APIマネージャーのアナリティクスダッシュボードでは、APIの使用状況のアナリティクスサマリーを視覚的に確認できます。傾向と使用の履歴、呼び出しが最も多かったAPI、最も頻繁に使用していたユーザーなどが分かります。API管理者は、リアルタイムのインサイトに基づいて、ビジネスニーズに応じてAPIの使用制限を変更するなど、対策を講じることができます。



APIマネージャーのアナリティクスダッシュボードでは、APIの使用状況、傾向、ユーザーを視覚的に確認できます。

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっているのです。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性の向上、新たな成長機会の獲得、新しいソリューションの開発を実現するための洞察を通じて、あらゆる産業や分野の企業がインテリジェントにビジネスをリードできるよう支援します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要とされる汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

API探索の自動化で開発者の効率をアップ

APIマネージャーは、ユーザーが自社構築して利用可能なすべてのRESTとSOAP Webサービスを自動で一覧表示します。APIクライアントの構築をサポートするため、APIメタデータとインターフェイスの説明が自動生成されます。また、WSDLまたはSwagger (OpenAPI) インターフェイスはAPIゲートウェイによって自動生成されます。

統合DevOps環境で生産性の向上を実現

APIマネージャーはIICSの一部です。IICSは、クラウドデータ統合、クラウドアプリケーション/プロセス統合、API管理、マスターデータ管理などをサポートする、業界で最も包括的なiPaaSソリューションです。緊密に統合されているIICSのユーザーエクスペリエンスは、開発者、業務アナリスト、API管理者の円滑なコミュニケーションを実現します。また、このような共通のユーザーエクスペリエンスによってIICS製品間でスキルを流用できるので、習得にもほとんど時間がかかりません。

APIマネージャーの主な機能は次のとおりです。

- サービスAPIの公開
- APIのライフサイクル管理 (APIの有効化、無効化、削除など)
- API記述
- APIポリシー
- APIの使用状況、ログ、セキュリティ例外状況の監視
- 全社レベルのレート制限およびIPフィルタリングポリシー (エンドポイントごとにレート制限ポリシーを指定可能)

APIマネージャーの詳細は、www.informatica.com/apiをご覧ください。また、Cloud Application Integrationの詳細は、www.informatica.com/caiをご覧ください。

